

●経理上手くんα DX Version 10.111

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 新規会社登録・修正・削除

①個人業種設定

・青色申告特別控除額に「55万円」の選択を追加しました。

平成30年税制改正に伴い、令和2年の所得税より青色申告特別控除額が65万円から55万円に引き下げられました。

※電子帳簿保存を行うと、引き続き「65万円」の青色申告特別控除が受けられます。

※決算期間や電子帳簿保存等による制御は行っていません。選択する際にはご注意ください。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理db (VERSION:10.111) の変更点”を参照してください。

財務処理 d b (VERSION:10.111) の変更点

改正

I. 登録・入力

1) 新規会社登録・修正・削除

①個人業種設定

・青色申告特別控除額に「55万円」の選択を追加しました。

平成30年税制改正に伴い、令和2年の所得税より青色申告特別控除額が65万円から55万円に引き下げられました。

※電子帳簿保存を行うと、引き続き「65万円」の青色申告特別控除が受けられます。

※決算期間や電子帳簿保存等による制御は行っていません。選択するにはご注意ください。

○個人業種設定

勘定科目体系	標準科目体系
業種区分	青色 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 不動産 <input type="checkbox"/> 農業
貸借対照表科目	一般
青色申告特別控除額	65万円 65万円 55万円 10万円
前期	(控除額計算順)
控除額入力	

○個人業種設定→「前期」ボタン

決算期	前期
青色申告特別控除額	65万円 65万円 55万円 10万円
(控除額計算順)	
控除額入力	

※前々期、3期前、4期前も「55万円」の選択を追加しています。

※決算期間による制御は行っていません。令和1年以前の期間では選択しないでください。

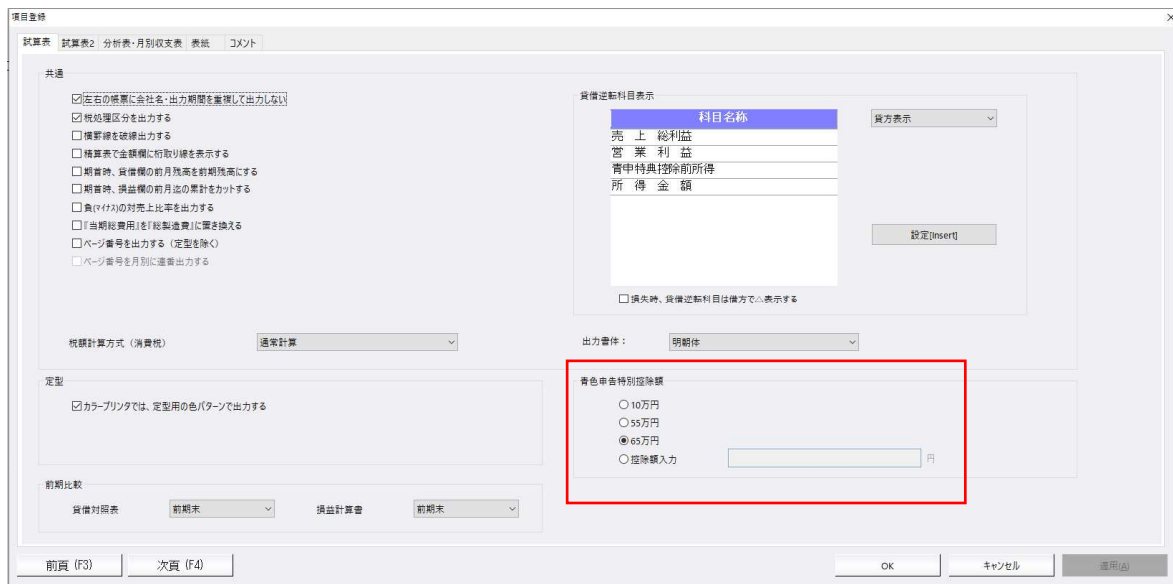
II. 出力(DX・Pro IIのみ)

1) 試算表・分析表

①F6項目登録→試算表タブ

・青色申告特別控除額に「55万円」の選択を追加しました。

※決算期間による制御は行っていません。選択するにはご注意ください。



改良

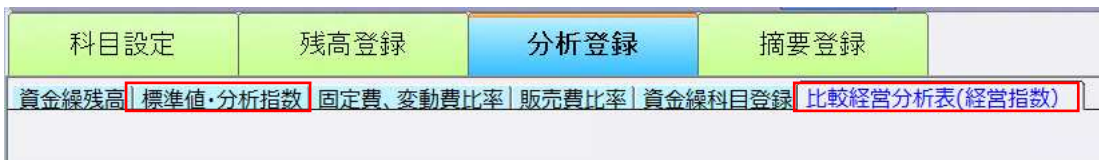
I. 登録・入力

1) 科目設定・残高登録

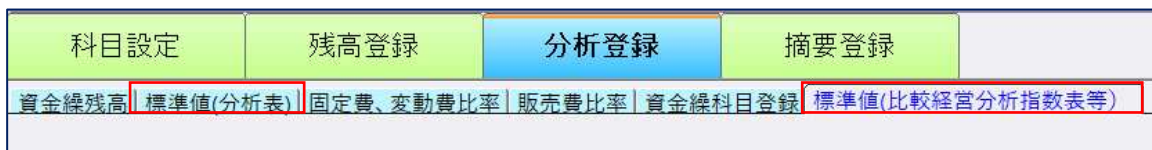
①分析登録

- ・ATLASの改良に伴い、タブ名及びチェックリストのタイトルを変更しました。
- タブ名 「標準値・分析指数」→「標準値(分析表)」
- 「比較経営分析表(経営指数)」→「標準値(比較経営分析指数表等)」

改良前



改良後



チェックリスト

- 「経営分析指数標準値チェックリスト」→「標準値チェックリスト(分析表)」
- 「比較経営分析指数標準値チェックリスト」→「標準値チェックリスト(比較経営分析指数表等)」

法人：標準値チェックリスト(比較経営分析指数表等)

Page 1/1

項目名	単位	標準値
総資本営業利益率	%	3.5
総資本経常利益率	%	4.2
総資本純利益率	%	...

②分析登録／標準値（比較経営分析指数表）

- ・「比較経営分析指数表」で、当タブで登録した「標準値」を利用するように対応したため、タブ名を「標準値（比較経営分析指数表等）」に変更し、ガイド表示を追加しました。

項目名	単位	標準値
総資本営業利益率	%	3.5
総資本経常利益率	%	4.2
総資本当期純利益率	%	2.7
自己資本当期純利益率	%	6.6
売上高総利益率	%	25.1

標準値の取込

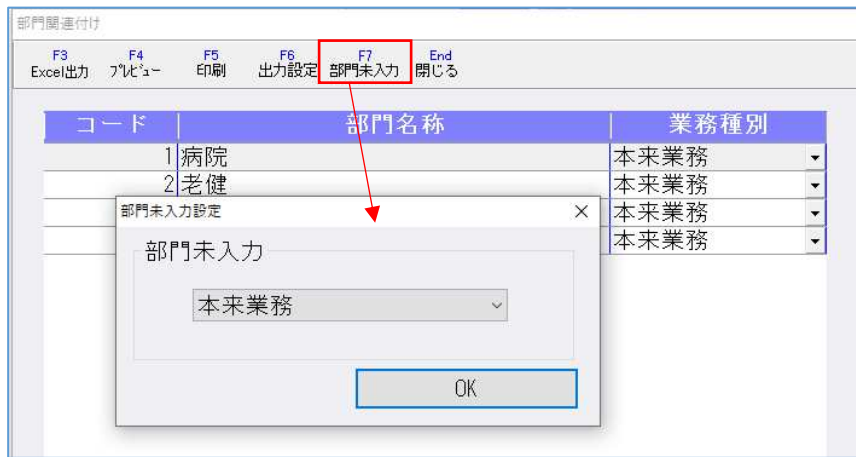
当画面で設定した値は、出力業務「比較経営分析指数表」「経営分析報告書」で使用します。

2) 部門設定(Pro IIのみ)

①部門関連付け／F7 部門未入力

- ・病院マスターで、決算書「勘定式（医療法人）」を選択している場合、部門未入力の仕訳が損益計算書の「医業収益」と「医業費用」に集計されなかったため、部門未入力の金額を「本来業務」「附帯業務」「収益業務」のいずれかに割り振るかの設定を追加しました。

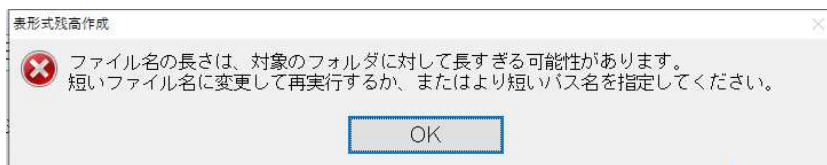
[F7 部門未入力] で、「本来業務」「附帯業務」「収益業務」いずれかを選択してください。



II. 表形式(Pro IIのみ)

1) 全般

- ①各業務において、ファイルの文字数を拡張しました。（最大 260 バイト）
ファイル名が半角で 258 文字を超えた場合は、下記メッセージを表示します。
（ドライブ名で、3 文字（D:¥）を使用します。）



- 2) 表形式残高作成
- 3) 表形式枝番残高作成
- 4) 表形式部門残高作成
- 5) 表形式財務予算作成

①「ファイル名を会社ごとに保存する」を追加しました。

- ・マスターごとにファイル名を保存できるように「ファイル名を会社ごとに保存する」設定を追加しました。

「ファイル名を会社ごとに保存する」にチェックを付けた場合、会社単位でファイル名が保存されます。

また、「ファイル名を会社番号に反映させる」の設定も会社ごとに保存するようにしました。

※チェックの状態は「残高作成」を行わないと保持されません。

※「ファイル名を会社ごとに保存する」にチェックを付けていない会社を選択した時は、下記メッセージを表示します。

ただし以下のいずれかに該当する場合は、メッセージを表示しません。

- * 「ファイル名に会社番号を反映させる」にチェックが付いている。
- * 最後に CSV 作成されたファイル名欄に表示されているファイル名が、ICS の初期のファイル名で使用している。

(保存先のフォルダは、判定に影響しません。)

例. 「1.表形式残高作成」出力形式 = 「試算表」を選択した時に、ファイル名が ICS の初期のファイル名「SISAN.CSV」と表示されている場合はメッセージを表示しません。

ご注意ください。

- ・「ファイル名を会社ごとに保存する」のチェックは出力形式や各業務を通して共通です。
例えば、出力形式＝試算表で保存先及びファイル名を設定して「ファイル名を会社ごとに保存する」のチェックを付けてファイル作成した後、出力形式＝推移表などに切り替えた時や別の業務を開いた時はチェックが付いていますが、その時の保存先及びファイル名は必ずしも適切なものとは限りません。
保存先のフォルダ及びファイル名は必ずご確認ください。

6) 表形式仕訳データ取込

7) 表形式出納帳データ取込

8) 表形式振替伝票取込

- ・部門番号が合計部門番号の場合、仕訳の取込は行いますが、部門コードは取り込まないようにしました。

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

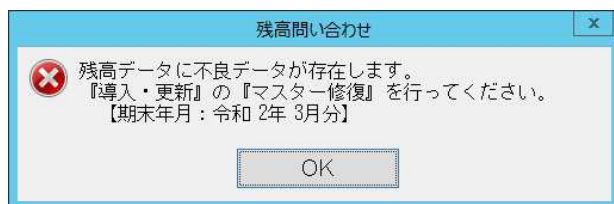
- ・通常入力から出納帳入力に切り替えて仕訳表示をした際に、新規入力行の仕訳の日付が、入力済みの最終仕訳の日付ではなく、月指定の最終月の日付が表示されていたのを修正しました。
- ・出納帳入力で仕訳挿入をすると、入力できない日付があったのを修正しました。
(例) 4月10日と4月15日の仕訳があり15日の上に仕訳挿入をした場合、10日から14日の日付は入力できるが、15日の日付が入力できなかった。
- ・解像度 1366×768 の場合、通常入力から振替伝票修正画面を表示させると、処理終了などのボタンが少し切れていたのを修正しました。
- ・仕訳貼り付けを行ったときに「エラーコード 0202 動作環境が不完全です。検索表示データアンダーフロー」のエラーメッセージが表示される場合があったのを修正しました。
F8 仕訳検索→複数仕訳を選択してコピー→仕訳ダブルクリックで入力画面に移行→仕訳挿入→仕訳貼り付けを複数回行うと現象が出ていました。

2) 科目設定・残高登録

① 枝番残高登録

- ・部門枝番処理を行うマスターで、枝番残高登録タブの「部門科目枝番登録」で追加登録した場合、「残高問い合わせ」業務で「残高データに不良データが存在します。『導入・更新』の『マスター修復』を行ってください。」のメッセージを表示していたのを修正しました。

※お手数をお掛けしますが、すでに現象が起きたマスターは「マスター修復」を行ってください。



II. 出力(DX・Pro IIのみ)

1) 総勘定元帳

- ・簡易課税や個別対応で、「内 10 卸」「内軽サ」「内 10 課」等と表示するべきところ、「内卸」「軽サ」「内課」のように 2 文字で表示していたのを修正しました。

2) 試算表・分析表

- ・「未確定科目に残高があります。未確定仕訳を出力しますか？」で"はい"を選択したときに、繰越利益剰余金の開始残高が含まれていなかったのを修正しました。
- ・繰越利益剰余金が、借方発生・貸方発生仕訳がある場合に、相殺されて出力されていたのを修正しました。

III. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ転送

- ・メール送信を行ったあとに「文字列データ又はバイナリデータが切り捨てられます。ステートメントは終了されました」と表示される場合があったのを修正しました。
上記メッセージの他に「文字列・・・付近に不適切な構文があります。」と表示される場合もありました。

以上